

ARCHITECTURE  
**STUDENT**  
CONTEST

# Architecture Student Contest



- ⇒ **建築・デザイン・建築工学を学ぶ学生**を対象としたサンゴバンの国際コンペティション
- ⇒ より良い生活と持続可能な建築を中心とした、本格的かつ包括的な建築への挑戦
- ⇒ サンゴバンの持続可能な建築のビジョンに基づく
- ⇒ **20年の歴史 - 2004年より開催**
- ⇒ **2段階のコンペティション:**
  1. 参加学生はまず国内大会で選考される
  2. 各国で優勝した1チームが世界大会に出場する

## 各国大会 2024

1 300人  
学生

554人  
指導教員

224  
大学

## 世界大会2024

29  
ヶ国

200人  
参加者

5  
受賞数



# Architecture Student Contest



## 公開審査

建築家・環境建築のエキスパートから  
直接フィードバックがもらえる！



## グローバルなネットワーキング

日本大会優勝者はフランス世界大会に出場  
各国の学生・教員と交流できる！



## サステナビリティ

時代に即した実践的な課題に取り組める！

※世界大会は公開プレゼン・チームごとに講評

# 審査基準



## 目的:

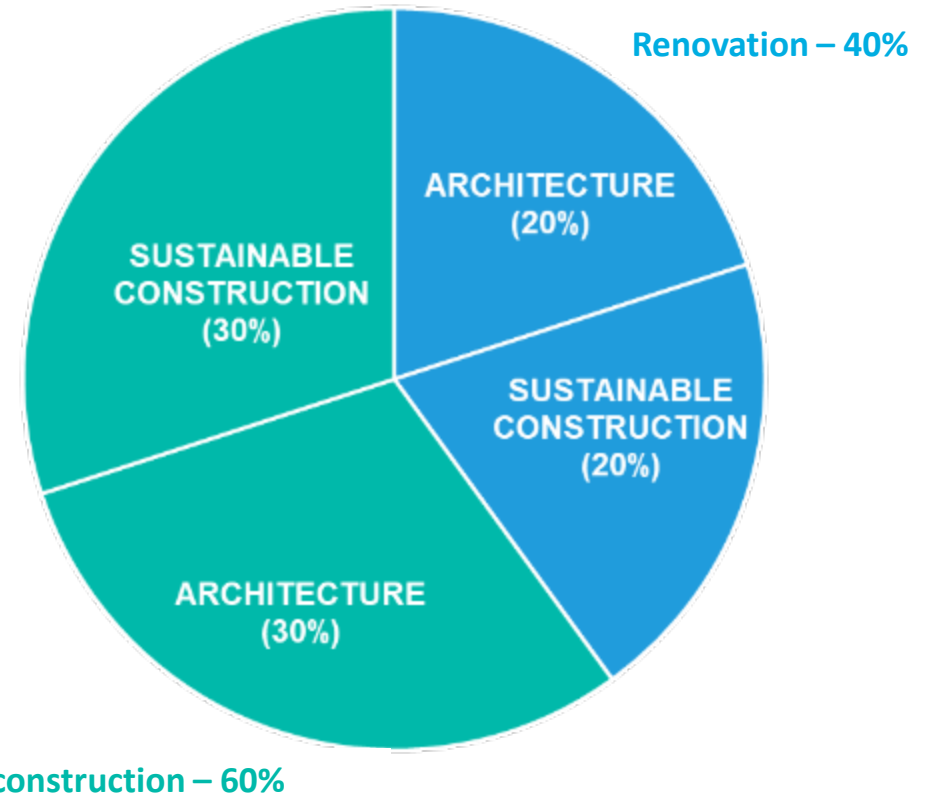
学生・審査員いずれも、**リノベーション**と**新築**両方に焦点を当てること

## ARCHITECTURE:

- 卓越したデザイン、文脈に適応した機能的コンセプト、建物情報。マスタープラン、建物と外部公共緑地との相互接続。

## SUSTAINABLE CONSTRUCTION:

- 持続可能性の基準に明確に対応した設計
  - CO2とエネルギー（エネルギー、LCA、パッシブ戦略など）
  - 資源と循環性（材料の最適化、リサイクル材料／コンテンツ、廃棄物管理の提案）
  - 健康と福祉（熱、照明、音響、室内空気環境の快適性）
- 建築物理学に関する提案された建築詳細の品質と一貫性。
- サンゴバン製品とソリューションの正しい使用方法と言及\*



世界大会の審査員は、著名な建築家、開催地域パートナーの代表者、サンゴバン社の専門家で構成されています。

# これまでの開催国



2024

ヘルシンキ, フィンランド

自然保護区に囲まれた大学敷地内の  
短期滞在/居住施設



Contest  
Task



1st Prize



Portugal



2023

リスボン, ポルトガル

公共文化空間の再活性化



Contest  
Task



1st Prize



South  
Korea



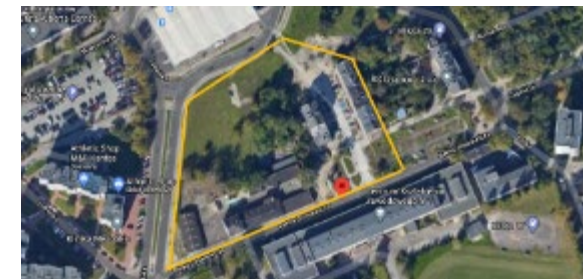
2022

ワルシャワ, ポーランド

社会的活性化と居住機能を  
組み合わせたデザイン



Contest  
Task



1st Prize



Finland



# INTERNATIONAL JURY MEMBERS

Helsinki 2024

ARCHITECTURE  
STUDENT  
CONTEST



**Tuomas HAKALA**

Head of Unit, Helsinki City  
Planning Department



**Jaana IHALAINEN**

Chief Executive Officer, Helsinki  
University Properties Ltd



**Rainer MAHLAMÄKI**

Founder, Lahdelma & Mahlamäki  
Architects



**Francis RAMBERT**

Head of the Architectural Creation  
Department  
Cité de l'Architecture et du Patrimoine



**Alicja KUCZERA**

Chief Executive Officer, Polish Green  
Building Council  
Chair of the GBC CEO Network,  
World Green Building Council



**Carl BÄCKSTRAND**

Vice-President, Architects  
Council of Europe  
Deputy CEO, White Arkitekter



**Pascal EVEILLARD**

Director of Sustainable  
Construction, Saint-Gobain



**Karel SEDLACEK**

Building Science Marketing  
Manager, Saint-Gobain

# ASC2024 日本大会



# ASC2024 日本大会当日の様子



日仏学院 建築見学



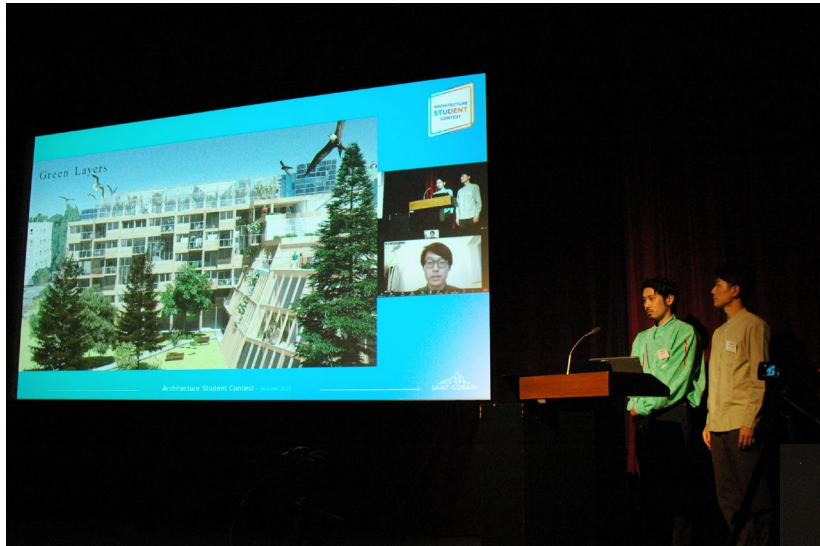
Architecture Student Contest



# ASC2024 日本大会当日の様子



プレゼン・質疑



Architecture Student Contest



# ASC2024 日本大会当日の様子



## 公開審査・表彰



# ASC2024 日本大会当日の様子



バナー展示・懇親会



Architecture Student Contest



# 参加学生からの感想

ARCHITECTURE  
STUDENT  
CONTEST

日本で行われている他のコンペにはない課題であったのが良かったと思います。  
計画自体が大規模であること、Sketch UpやOne Click LCAなどのツールのスキルも求められることから、ただ設計するだけでなく、建築に関するさまざまなことを同時に考えて進めるコンペだと思います。数週間で完成する学校課題ではなかなか得られない機会でした。  
また、環境・構造・意匠など建築学科の中でも多様な分野の学生が手を取りチームとなって挑戦できるのも良いと思いました。

マスタープランから断面詳細、環境配慮まで分野を横断した提出要項で、コンペティションに参加したことで建築提案の視野が広がり成長できたと感じた。  
また、審査が公開型であったことや後日フィードバックを頂けたため、大変勉強になった。

サステナビリティの提案をする際に、ソフト面に偏ってしまい根拠がない提案をするしかなかったが、LCAを意識したことで具体的な提案に昇華できたと感じた。

普段設計の勉強をしている中で、具体的にどんな材料を使うのかや、どのくらいの質量が必要なのかを考えることがなかったので、とても新鮮な体験でした

# ASC2024 日本大会受賞作品



1st Prize

Green Layers



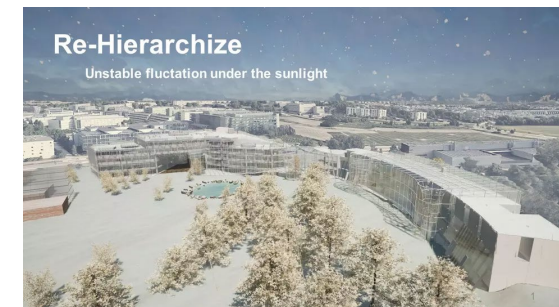
2nd Prize

Metabolism Hub



3rd Prize

Re-Hierarchize



<https://www.isover.co.jp/architecture-student-contest-2024jp-result>

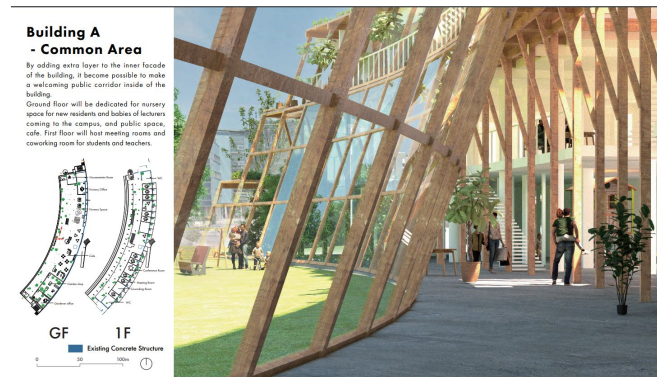
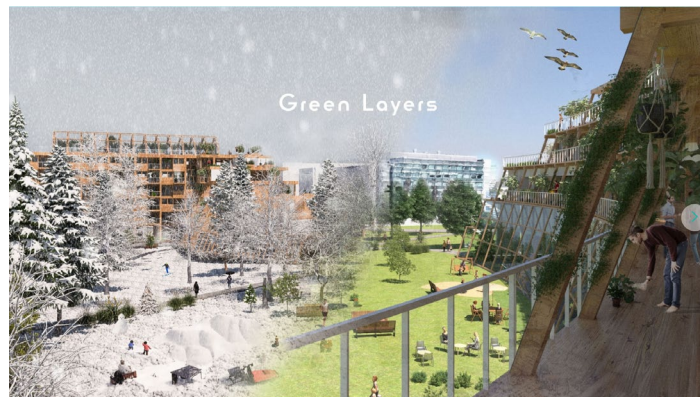
Architecture Student Contest



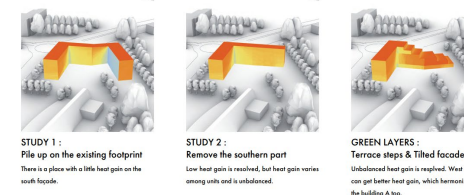
# ASC2024日本大会 優勝作品



作品名 : Green Layers  
京都大学・東京大学合同チーム



Building B - Volume Study



## <若林審査委員長講評 (抜粋)>

単なる建築の提案だけでなく、環境側面への影響をも検証、検討しなければならぬ難しい課題。その中でこの提案「Green Layers」は、既存の植栽を守りながら人や街にとっての緑の役割を考え、またA棟では**RC躯体を軽量な木造に置き換える**ことで床面積を増やし、B棟では**既存の基礎の上に新築を乗せながら、日照を考えたL字型の平面にまとめる**など、多くのアイデアと工夫がバランスよく、素敵なCGでわかりやすく表現されていた。レジデンスのプランもよく練られている。A棟では**貴重な冬の窓からの光を奥の部屋まで導く**よう固定の間仕切りではなくカーテンなどで仕切る工夫や、よくよく見るとB棟1階の駐車場からは冬季の冷気の侵入や雪の中を歩かずとも良いよう、外を通らず車室ごとに設けた**風除室を介して室内に入れる**工夫がされている。



Jiro Akita  
The University of Tokyo



Kazuki Ohashi  
Kyoto University



Taichi Kaga  
Kyoto University



Teacher  
Yosuke Komiyama

● 作品データはこちらから閲覧できます ↓

<https://architecture-student-contest.saint-gobain.com/project/2024/japan/green-layers>

Architecture Student Contest



# ASC2024 世界大会@ヘルシンキ



ASC2024世界大会は6月10-12日の3日間にわたりフィンランド・ヘルシンキで開催され、29ヶ国の学生・教員・サンゴバン社員が参加しました。

ウェルカムセレモニー、バナー展示、公開プレゼンテーション、シティツアー、ガラディナー、表彰式、審査員による個別フィードバック、建築家によるカンファレンスといった多くの魅力的なイベントを通じ、サステナブル建築について**未来を支える若い世代の交流**が行われました。



日本チームの作品**Green Layers**は、既存建物の基礎を活かした新築棟やリノベーション棟の木ファサード、インテリアの実現性や将来のメンテナンスを見据えた細やかな配慮、LCAの実践的な取り組みが、国際舞台で活躍する審査員をはじめ他国の学生・教員からも支持されました。惜しくも入賞は逃したものの、**10位以内に入る作品**であったと評価されました。

世界大会の詳細な様子は[こちら](#)からご覧いただけます。

# ASC2024世界大会の様子



# ASC2024世界大会の様子



# ASC2024世界大会の様子

---



# ASC2024世界大会の様子

---



# ASC2024 世界大会 参加者感想



友人に誘われて要項を見た時は課題内容の難しさや世界大会のレベルの高さに圧倒されましたが、先生や運営の方々の手厚いサポートの元、国内大会で優勝し、ヘルシンキに行くことができました。世界大会では入賞こそ惜しくも逃したものの、サンゴバン社のご好意のもと言語も建築に対する考え方も違う学生と熱い議論、そして盃を交わした3日間はとても幸福でした。戦争の続く国から来た学生に厳しい世界情勢を垣間見ると同時に、親世代が戦った国の学生同士が仲良く話す姿に希望を感じました。様々な困難はありましたが、コンテストを通じて普段の設計課題やコンペとは全く違う視点で設計することが出来、全く違う世界を知れたのは今後の糧になると思います。ありがとうございました。

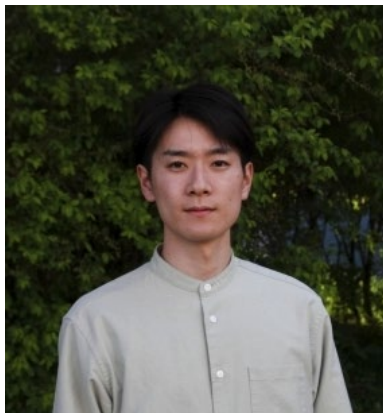
(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 秋田次郎さん)



大会参加を決めた当初は専門的な課題内容、また対象敷地が見知らぬ土地であることからの戸惑いが多くありました。しかしながら、頼りになるチームメイト、指導教員からの的確なご指導、大会運営チームの親切なご協力と多大なご尽力のおかげで、成果を存分に発揮することができました。入賞こそ逃しましたが知恵を振り絞った我々の案に誇りを持っています。今回の貴重な経験が今後の自身の設計活動に大きな影響を与えていくことは疑うまでもありません。国際大会では世界中の国の方々と交流することができ非常に刺激的でした。イベント自体もユニークで終始ウェルカムな雰囲気を感じていました。来年からも益々大会が発展していくこと、お祈り申し上げます。

(京都大学大学院工学研究科建築学専攻 大橋和貴さん)

# ASC2024 世界大会 参加者感想



一言で言えばASCは学びの連続でした。未経験の数の要件を、しかも他国の敷地において理解し解釈することは簡単ではありませんでした。しかし、**ソフトの解説動画や建材使用例などの資料**、サンゴバン社員の方々のサポートが手厚く、1つひとつ確実に身につけることができました。ASCの特徴の中でも学生にとって最も有益な点は、同じ課題に取り組んだ他学生や教員と話せる機会がたくさん設けられていることです。

**International Stageでは発表前日からプログラムが組まれており、大学や国の枠も超え、互いの健闘を讃え、勝ち負けに関係なく褒め合い、苦労を共有できたことが印象的でした。**卒業間近のこの時期に、彼らと互いの建築感や将来について日が暮れるまで(暮れても明るいのですが)議論した時間は間違いなく刺激的でした。これからそれぞれの立場で建築の未来を作っていくそんな同朋たちと再会できた日には、また互いの学びを共有し高めあえるよう、努力を続けていきたいと思うきっかけになりました。

(京都大学大学院工学研究科建築学専攻 加賀大智さん)

Teacher



優秀で仲良しな学生3人組から頼まれ指導教員を務めたが、本コンペの難所である負荷計算も矩計図もほぼ彼らの独力によるもの。刺激的な公開審査を経て僕らが日本代表に選ばれると、優勝おめでとうと連絡をくれた海外チームもあった。

世界大会初出場の日本は入賞こそ逃したものの上位10選に。審査結果を他国の教員と議論できたのも楽しかった。**建築ツアーや歴史的建造物でのセレモニーなど開催都市を理解できるプログラムも充実しており、他国の学生・教員・サンゴバンスタッフとしゃべり続ける学生たちの姿が印象に残った。**僕も海外留学・海外就職をしたが、その垣根さえ無いように感じさせる彼らは新時代の頼もしい学生たち。この貴重な経験を経て、彼らがこの後どう成長してくれるのかとても楽しみだ。

(京都大学大学院工学研究科建築学専攻 講師 小見山陽介先生)

20<sup>TH</sup> EDITION – FRANCE



# FRANCE 2025

# ASC2025 概要



## 趣旨

- サンゴバン国際学生建築コンテストは2004年から始まり、2025年で20回目の開催となります。2024年各国大会では1,300名/29ヶ国/224の大学から参加がありました。人々の暮らしと環境両方の持続可能性に配慮したより良い建築の設計を支援・評価しています。

## 応募条件

- 日本国内の専門学校、短大、大学、大学院において建築、デザインなどを学ぶ学生の、個人またはグループ（3名まで）。国籍は問わない。2024~2025年度に大学に所属する学部生・修士であること（2024年度大学4年生及び修士課程2年生も可）博士課程は不可。

## 賞金

- 予選：日本大会賞金：
  - 1位：20万円 + 世界大会@フランスへの出場権（イベントに関わる渡航費・滞在費は全額サンゴバン社負担）
  - 2位：15万円
  - 3位：10万円
  - 学生賞：5万円
- 本選：世界大会賞金
  - 1位：5,000EUR
  - 2位：3,000EUR
  - 3位：1,500EUR
  - 教員賞・学生賞：各1,000EUR

## スケジュール

- 2024年9月～ オンライン参加登録
- 2025年3月24日（月） 昼12時 日本大会(予選)作品提出〆切
- 2025年4月19日（土） 日本大会（プレゼン・講評・表彰式）@東京
- 2025年5月11日 世界大会作品提出〆切（オンライン）
- 2025年6月16～18日 世界大会@フランス

# ASC2025日本大会スケジュール



2025

2月19日(水)

3月24日(月)  
昼12:00

4月7日(月)

4月19日(土)

5月11日(日)  
23:59(仏時間)

6月16~18日

参加者向け  
ONECLICKLCA  
講習会



日本大会  
提出〆切



一次審査結果発表  
(予定)



日本大会



世界大会  
提出〆切



世界大会



# ASC2025 日本大会審査員



審査員長 伊東 豊雄  
伊東豊雄建築設計事務所  
代表取締役



審査員 若林 亮  
株式会社日建設計  
デザインフェロー



審査員 掛上 恭  
住友林業株式会社  
木材建材事業本部  
ソリューション営業部  
LCAチーム シニアマネージャー

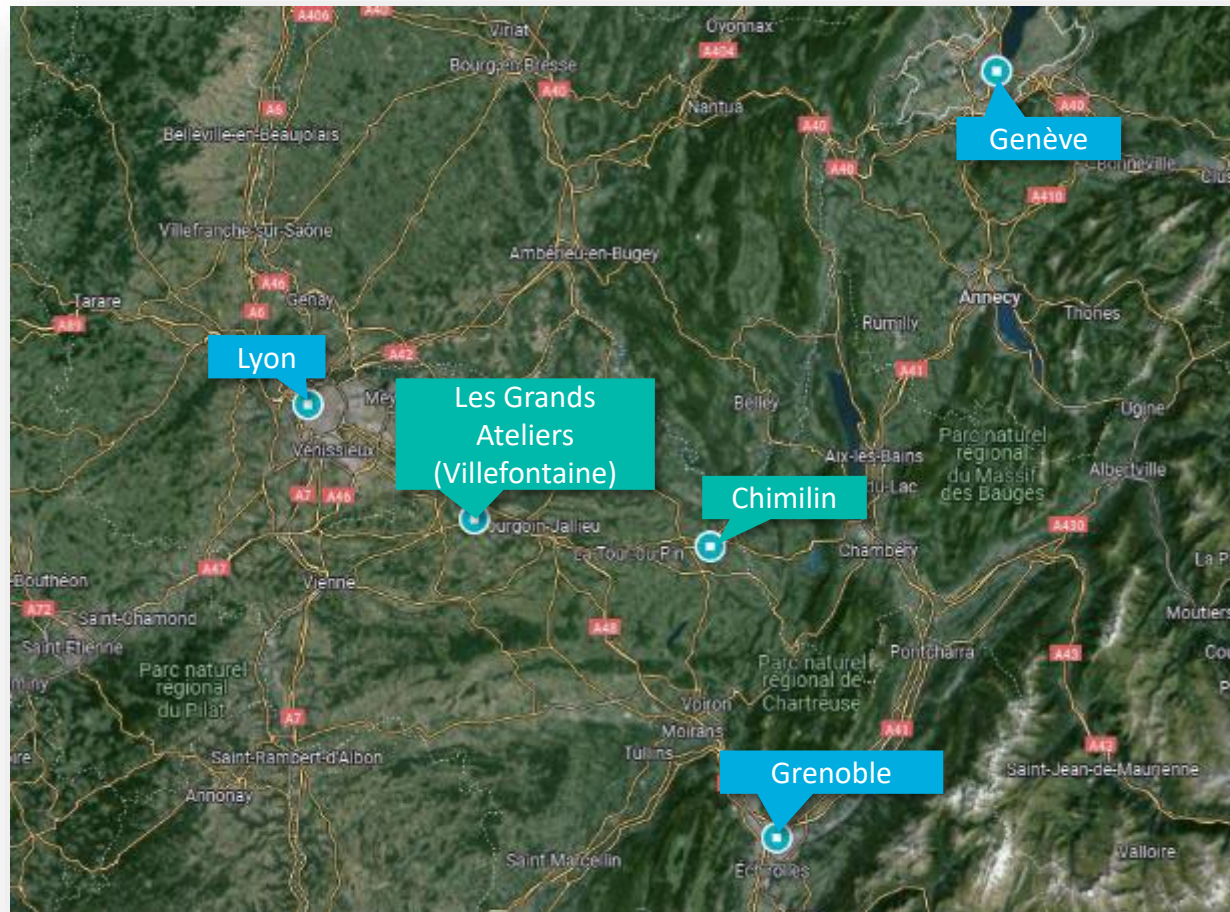
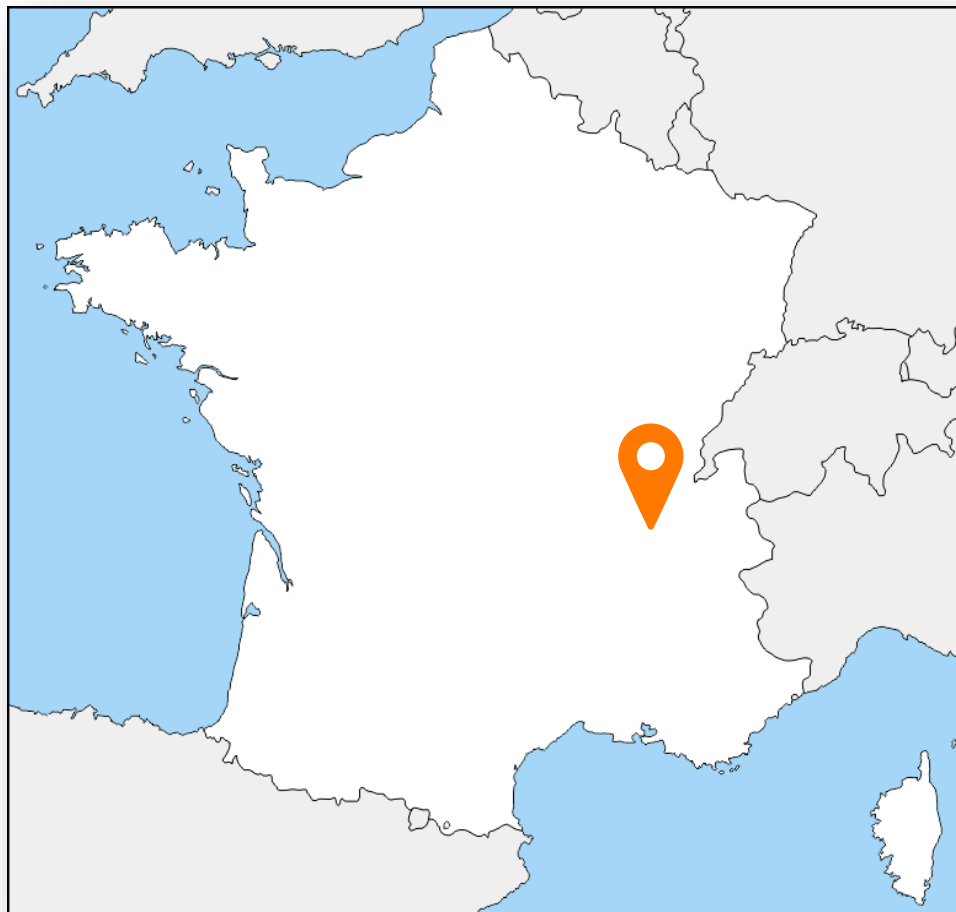


審査員 南 章子  
一般社団法人グリーンビル  
ディングジャパン  
日建設計コンストラクショ  
ン・マネジメント株式会社

# 北イゼール, フランス



イゼール県北部, フランス  
シミラン村 + レ・グラン・ザトリエ(ヴィルフォンテーヌ)

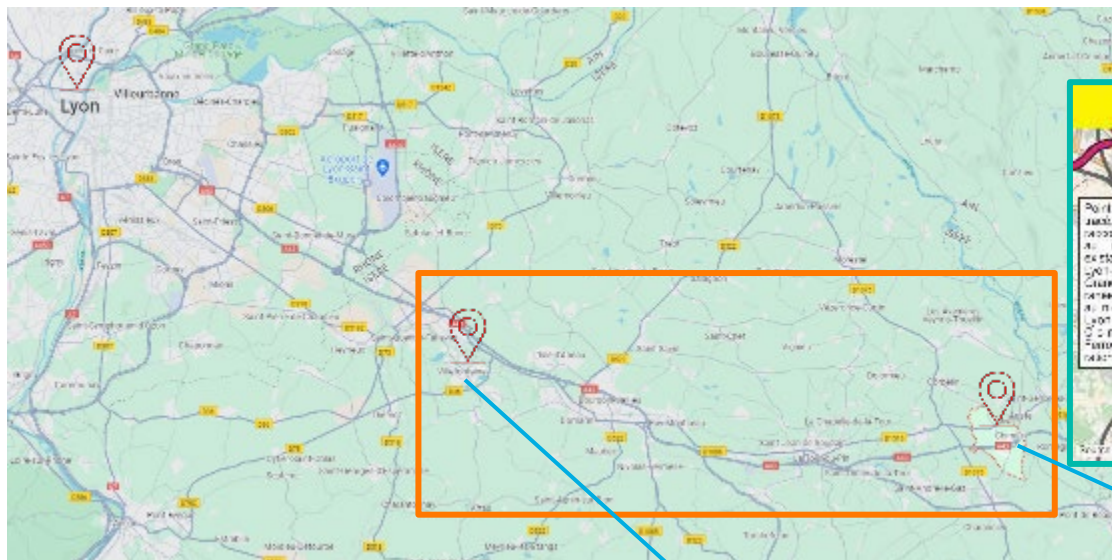


# 田舎町の再生



## 背景

- この地域は大規模なインフラプロジェクト（**リオン-トリノ鉄道**）の影響を受ける。
- 地元当局はこのプロジェクトを活用し、近隣の村や町を活性化させたい。



## プロジェクトサイト

ASC2025では、新築とリノベーションそれぞれ2つのサイトが設定され、「若い世代の誘致」をテーマにリンクしている：

- ◆レ・グラン・ザトリエ：世界の建築/工学学生を惹きつけ、受け入れる場として
- ◆シミラン：廃校となった建物を改修し、コミュニティ施設へ



# 課題・関連書類



コンテスト課題・素材データは  
こちら



コンテスト課題紹介ビデオは  
こちら



シミラン・レグランアトリエの  
ストリートビュービデオ



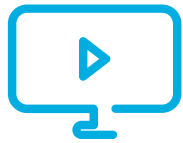
提出物の書式は [Contest Rules](#) を必ずご確認ください

# TEACHERS' DAYS とよくある質問

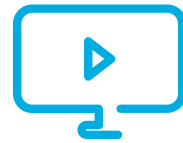
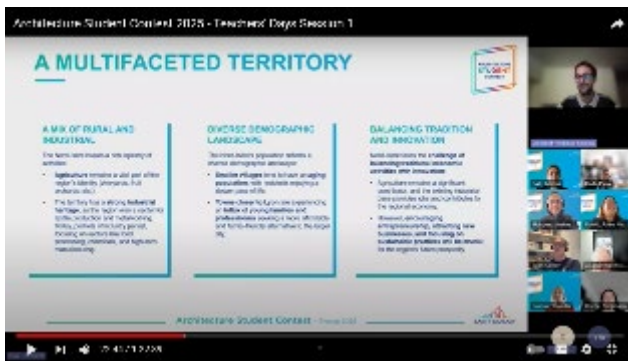


ASCでは毎年オンラインイベント「ティーチャーズデイ」を開催し、世界中の関心ある教員の皆様に向けてコンテスト課題が発表されます。2つのセッションで構成され、録画は次のリンクからアクセスすることができます。 [Architecture Student Contest YouTube Channel](#).

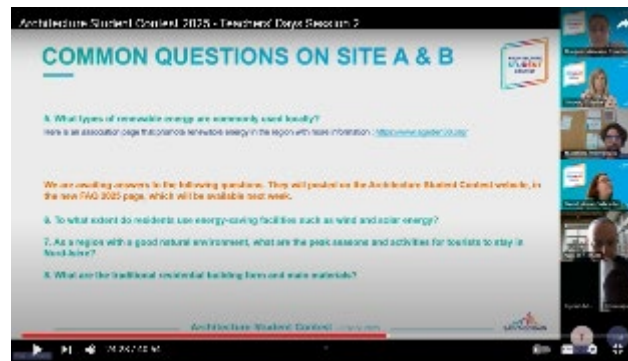
下記の画像をクリックすると直接YouTubeにアクセスすることができます。



## SESSION 1



## SESSION 2



## FAQ PAGE

TASCの公式サイト上の[FAQ page](#)、では、学生や教員は質問をすることができ、回答は公開され、誰でも見ることができます。

# 日本大会 連絡事項



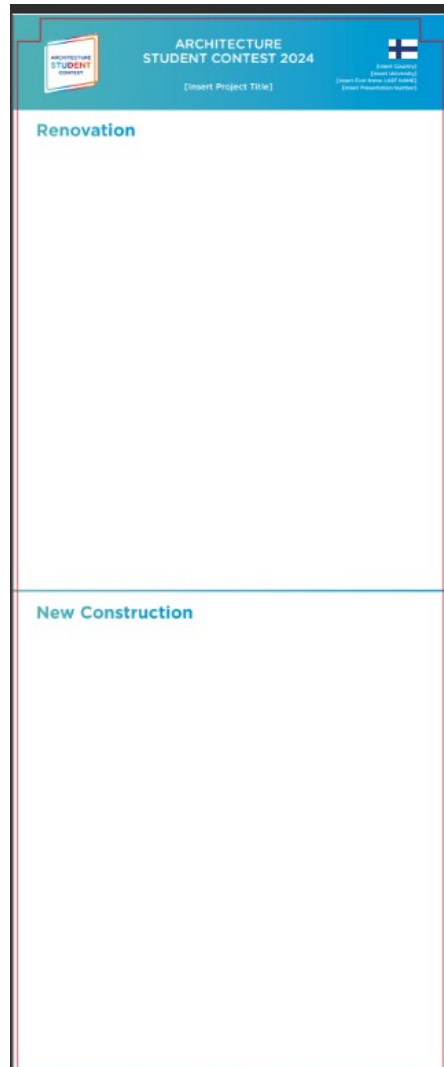
- 3月24日(月)昼12:00までにOneDriveのチーム専用フォルダにファイルをアップロードしてください。リンクは個別にご連絡いたします。
- 日本大会プレゼンは、提出資料(パワーポイント)を弊社PCからスクリーンに投影します。

## 日本大会に関する連絡事項

- ・ 作品提出後の変更・修正は一切できません。
- ・ 日本大会への模型の持ち込みはできませんが、模型の写真・動画を提出作品に含めることは可能です。
- ・ 1次審査通過者であっても、日本大会に出席できない場合は選外となりますのでご注意ください。
- ・ 日本大会会場までの交通費について、大学/学校の所在地が首都圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）にある場合は各自負担にてお願いいたします。それ以外の地域の方は3万円を上限とする実費精算で主催者負担とします。また、宿泊が必要な場合は、各自負担にてお願いします。
- ・ 日本大会への指導教員の同行は必須ではありません。一次審査通過後に現地参加の出欠を確認させていただきます。
- ・ コンテスト課題内容に関するお問い合わせは、ASCオフィシャルサイトの[FAQページ](#)に投稿して質問してください。日本大会の運営に関するお問い合わせは、ASC事務局（ascjapan@saint-gobain.com）宛にご連絡ください。



# Roll-UP



テンプレート準備中

## Le Pisé<sup>5</sup>: A Traditional Construction Technic using Raw Clay

For many centuries, building in this region have use the construction technique locally called *Pisé*. This type of construction, with its strong heritage identity, requires special care and expertise when it comes to renovation. Although, neither building in the Contest Taks is constructed under this technique, it brings a cultural inspiration.

Chimilin - Renovation >

# Is the school built with a load-bearing masonry ? Are the walls made of pisè ?

The school is built on load-bearing masonry and in traditional Dauphiné adobe (pisé).

p.20

- 3) A calculation of the carbon emissions over the whole building life cycle shall be carried out with the tool provided for free during the competition by OneClick LCA. Students will explain how they have been able to reduce/optimize the embodied carbon while progressing in their project design, e.g., lightweight constructions, wood construction, product reuse. Student must consider the French regulation (RE2020) thresholds for carbon of  $490 \text{ kgCO}_{2\text{eq}}/\text{m}^2$  /year.<sup>16</sup>

# • The French RE2020  $490 \text{ kgCO}_{2\text{eq}}/\text{m}^2/\text{year}$  seems quite large. Is this miss translation or any other standard?

• The whole building life cycle calculation, the scope is standard one? (A1-A4, B4-5,C1-4)

- Ic construction: the value is  $490 \text{ kgCO}_2/\text{m}^2$ . There is no notion of /year.
- Life cycle calculation on all stages, yes.

# Training SG Solutions



## Tools and Trainings

Discover tools and presentations which can help you to build greata projects.

[About the Contest](#) [Edition 2024](#) [FAQ 2024](#) [Last Editions](#) [Projects 2023](#) [Inspirational Gallery](#) [Pi](#)

 Training Acoustic Comfort Saint-Gobain <a href="#">Download the training presentation here</a>	 Training IAQ Comfort Saint-Gobain <a href="#">Click here to watch replay</a> <a href="#">Download the training presentation here</a>
---	--

[ACCESS TO TRAININGS AND TOOLS HERE](#)



 THERMAL COMFORT E-Learning Thermal Comfort English <a href="#">Start E-Learning</a>	 INDOOR AIR COMFORT E-Learning Indoor Air English <a href="#">Start E-Learning</a>	 ACOUSTIC COMFORT E-Learning Acoustic Comfort English <a href="#">Start E-Learning</a>
 VISUAL COMFORT	 THERMAL COMFORT	 INDOOR AIR COMFORT





# Architecture Student Contest

